

모닝 에듀

2022

青森大学留学生特別入学者選抜ガイド

日本留学試験等利用 一渡日前一

総 合 経 営 学 部	経 営 学 科
社 会 学 部	社 会 学 科
ソフトウェア情報学部	ソフトウェア情報学科
薬 学 部	薬 学 科

青森大学における三つの方針（ポリシー）

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー（以下AP））

青森大学は、「地域とともに生きる大学」かつ「学生中心の大学」として、自らの未来を切り拓く実践力を備えた人間の養成を目指して教育を行っています。そのため、各学部で学ぶ意欲があり、高等学校までの学習や経験を通じて基礎的知識を持ち、身近な問題に自ら取り組み、その結果を表現できる力を身に付けていることを重視します。入学者の受入れは、下記の方針に基づいて適正に行います。入学者の選考は、様々な個性、能力等を有する人物を受け入れることができるよう、多様な選抜方法を用意して行います。

【青森大学が求める学生像】 次の①～⑥のような学生を求めています

- ① 高等学校の教育課程を幅広く修得している人
- ② 身近な問題について、知識や情報を基にして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる人
- ③ 希望する学部で主体的に学ぶ意欲がある人
- ④ 学んだ知識や経験を社会で活かしたいという意欲がある人
- ⑤ 地域における社会的活動、文化、スポーツ活動等に取り組む意欲がある人
- ⑥ 各学部から求められている入学前教育に取り組むことができる人

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

青森大学は、「地域とともに生きる大学」かつ「学生中心の大学」として、学則第1条に定める本学の目的の「有能にして良識のある人材を育成し、文化の発展並びに人類の福祉に貢献するとともに、地域社会の向上に資すること」を目指す教育を行い、所定の期間在学し、本学の各学位プログラムの課程を修め、専門的知識、技能を身に付け、かつ、「未来を拓く実践力」を培うための基盤的・総合的能力である「生涯をかけて学び続ける力」、「人とつながる力」及び「自分自身を見据え、確かめる力」の3つの力（以下「3つの力」という。）を備えた人物に学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

青森大学は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる専門的知識・技能と「3つの力」を修得させるために、青森大学基礎スタンダード科目、専門教育科目、教職に関する科目等を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。科目間の関連や科目内容の難易度を表わす科目ナンバリングを行い、カリキュラムマップを作成し、カリキュラムの体系性を明示します。

※ 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）の詳細は青森大学ホームページでご覧いただけます。

総合経営学部 経営学科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

総合経営学部は、経営学の専門的知識・技能を身につけ、自らの未来を切り拓く実践力を備えた人間の養成を目指して教育を行っています。そのため、本学部で学ぶ意欲があり、高等学校までの学習や経験を通じて基礎的知識を持ち、身近な問題に自ら取り組み、その成果を表現できる力を身に付けていることを重視します。入学者の受入れは、下記の方針に基づいて適正に行います。入学者の選考は、様々な個性、能力等を受け入れることができるよう、多様な選抜方法を用意して行います。

【総合経営学部が求める学生像】 次の①～⑥のような学生を求めています（以下「AP①～⑥」とする）

- ① 高等学校の教育課程を幅広く修得している人
- ② 身近な問題について、知識や情報を基にして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる人
- ③ 総合経営学部で主体的に学ぶ意欲がある人
- ④ 学んだ知識や経験を社会で活かしたいという意欲がある人
- ⑤ 地域における社会的活動、文化、スポーツ活動等に取り組む意欲がある人
- ⑥ 総合経営学部から求められている入学前教育に取り組む意思がある人

【入学志願者に求める学習の取組】

- ・ 知的好奇心を持ちながら、課題にかかわることにより、地域や仲間とのつながりを構築するために主体的に学習に取り組む必要があります。
- ・ 文化、歴史、経済、産業などが相互に関係する地域における課題を総合的に把握し、正確に分析するための幅広い知識と現実社会のさまざまな事象への知見を身に付けておく必要があります。
- ・ 多様な分野の学習に取り組むために、リスクを恐れず何事にも挑戦する姿勢を身につけておく必要があります。

【入学者選抜の基本方針】

1. 入学者選抜方法

(1) 総合型選抜

選抜方法：「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接（口頭試験含む）」「小論文」

本学部の教育課程に基づく学習についてアドミッション・ポリシーをふまえ、主体性、多様性、協働性を重点的に評価するという観点から、上記の方法を用いて総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分：総合型選抜、社会人特別選抜、編入学選抜

(2) 学校推薦型選抜

選抜方法：「推薦書」「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接（口頭試験含む）」「小論文」

本学部の教育課程に基づく学習についてアドミッション・ポリシーをふまえ、表現力、主体性、判断力、思考力、協働性を重点的に評価するという観点から、上記の方法を用いて総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分：公募・指定校学校推薦型選抜

(3) 一般選抜

選抜方法：「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「学力検査」

高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、上記の方法を用いて総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分：一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜

2. 選抜方法の内容と評価要素

調査書

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」

1. 知識・技能【A P ①】

「各教科・科目等の学習の記録」「各教科の学習成績の状況」「学習成績概評」「出席の記録」

2. 思考力・判断力・表現力【A P ②】

「総合的な学習の時間の内容・評価」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度【A P ③④⑤】

「総合的な学習の時間の内容・評価」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」

※「備考」については「本学アドミッション・ポリシーに関連した学習成果」の記載を求めます。

大学入学志望理由・自己推薦書

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」

これまでの勉学や様々な活動を通じて得た経験をもとに記述します。学校内外で意欲的に取り組んだ活動(生徒会活動、部活動、ボランティア活動、資格・検定等、その他生徒が自ら関わってきた諸活動等)を記載してください。入学希望理由や入学後に学びたい内容、大学卒業後を見据えた目標を記載してください。

推薦書

選抜方法:「学校推薦型選抜」

「学力の3要素の評価表」にそって、3要素の評価を記載してください。入学希望者の学習や活動の成果を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」について評価します。

面接(口頭試験含む)

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」

志望動機、自己PR等の3～4問の設問に対して口頭発表します。アドミッション・ポリシーを理解し自己PRができているのか、志望理由が明確で将来の進路希望は明確か等を判断基準として「思考力」「表現力」「主体性」「意欲」を評価します。

小論文

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」

経済問題、社会問題等から一つのテーマについて論述してください。日本語の文章表現が適切かどうか、テーマの内容を的確に把握しているかどうか、自身の考えを論理的に述べているかどうかを判断基準として「知識」「思考力・表現力」を評価します。

学力検査

選抜方法:「一般選抜」

一般選抜では「国語、英語、社会、数学」から2科目選択による試験を行います。大学入学共通テスト利用選抜では、「国語、英語、地理歴史・公民、数学」から2科目選択した結果により高等学校修了レベルの学習達成度と「知識」「思考力」を評価します。

【入学者選抜区分ごとの評価の比重】

入学者選抜方法	学力の3要素		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
(1) 総合型選抜	○	○	◎
(2) 学校推薦型選抜	○	◎	◎
(3) 一般選抜	◎	○	△

重視する度合いが高い順に「◎」「○」「△」となります。

学力の3要素の評価の詳細については、「**出願書類等の活用**」をご覧ください。

社会学部 社会学科

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

社会学部は、社会学の専門的知識・技能を身につけ、自らの未来を切り拓く実践力を備えた人間の養成を目指して教育を行っています。そのため、本学部で学ぶ意欲があり、高等学校までの学習や経験を通じて基礎的知識を持ち、身近な問題に自ら取り組み、その成果を表現できる力を身に付けていることを重視します。入学者の受入れは、下記の方針に基づいて適正に行います。入学者の選考は、様々な個性、能力等を受け入れることができるよう、多様な選抜方法を用意して行います。

【社会学部が求める学生像】 次の①～⑥のような学生を求めています (以下「AP①～⑥」とする)

- ① 高等学校の教育課程を幅広く修得している人
- ② 身近な問題について、知識や情報を基にして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる人
- ③ 社会学部で主体的に学ぶ意欲がある人
- ④ 学んだ知識や経験を社会で活かしたいという意欲がある人
- ⑤ 地域における社会的活動、文化、スポーツ活動等に取り組む意欲がある人
- ⑥ 社会学部から求められている入学前教育に取り組むことができる人

【入学志願者に求める学習の取組】

- ・高等学校の教育課程における学習を通して、文化や社会に関する基礎知識、加えて思考力、表現力等を身につけておく必要があります。
- ・体験型学習等を通して、物事に主体的に関わっていく態度、様々な他者と協働して何かを成し遂げる能力、自分自身の考えを発信していく力を身につけておく必要があります。
- ・地域社会が直面する問題を多様な観点から理解し、的確かつ精密に分析する力を養うために、様々な社会現象に広く関心を持つ態度や、様々な分野の学習に取り組んでいく態度を身につけておく必要があります。

【入学者選抜の基本方針】

1. 入学者選抜方法

(1) 総合型選抜

選抜方法:「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接」「小論文」

本学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解した上で、本学部のカリキュラムに基づく学習を進めていくために必要となる「思考力」、「表現力」、「主体性」等を中心に総合的に評価するという観点から、上記の選抜方法に基づいて評価して選抜します。

入学者選抜区分:総合型選抜、社会人特別選抜、編入学選抜

(2) 学校推薦型選抜

本選抜方法:「推薦書」「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接(口頭試験含む)」

本学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解した上で、本学部のカリキュラムに基づく学習を進めていくために必要となる「主体性」、加えて「表現力」、「思考力」、「知識・技能」等を、所属する高等学校の推薦内容をふまえて評価するという観点から、上記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分:公募・指定校学校推薦型選抜

(3) 一般選抜

選抜方法:「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「学力検査」

高等学校修了レベルの学習の達成度を重点的に評価するという観点から、上記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分:一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜

2. 選抜方法の内容と評価要素

調査書

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」

1. 知識・技能【A P ①】

「各教科・科目等の学習の記録」「各教科の学習成績の状況」「学習成績概評」「出席の記録」

2. 思考力・判断力・表現力【A P ②】

「総合的な学習の時間の内容・評価」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度【A P ③④⑤】

「総合的な学習の時間の内容・評価」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」

※「備考」については「本学アドミッション・ポリシーに関連した学習成果」の記載を求めます。

大学入学志望理由・自己推薦書

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」

志望理由について、これまでの学習において身につけた知識や様々な活動を通して得た経験をもとに記述してください。社会問題など、社会で生じている様々な現象に対する関心などが高いか等を判断基準として、「主体性」、「多様性」、「協働性」を評価します。

推薦書

選抜方法:「学校推薦型選抜」

本学アドミッション・ポリシーに応じて調査書に記されたことのうち、当該志願者において際立って優れている点を2つ、あるいは3つ挙げて説明してください。アドミッション・ポリシーのいずれかに応じるものとして評価します。

「面接(口頭試験含む)」

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」

自己PR、志望理由と入学後の目標、大学卒業後の進路等について質疑応答を行います。「学校推薦型選抜」では、これに加えて、現代社会、あるいは地域社会が直面している課題等について書かれた文章(新聞記事や講演録からの抜粋など)を読み上げ、その内容を手短かにまとめる課題を出します。アドミッション・ポリシーを念頭に置いた志望動機が明確か、大学入学後の目標と将来への見通しは明確か、コミュニケーション能力は高いか、そして「学校推薦型選抜」では、これらに加えて、日本語で書かれた論理的文章を著しい淀みなく、他人が聞いて理解できるように読み上げることができるか、設問に対する答えとして適切か等を判断基準として、「主体性」、「表現力」、「思考力」等を評価します。

小論文

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」

現代社会、あるいは地域社会が直面している課題等について、しばしば与えられた資料などを参考にして、自分の考えを述べてください。設問に対する答えとして適切であるか、自分の考えを論理的に述べているか、日本語の文章表現として適切であるか等を判断基準として、「思考力」、「表現力」、「判断力」を評価します。

学力検査

選抜方法:「一般選抜」

一般選抜では、「国語、社会、英語、数学」のいずれか2科目の筆記試験を行います。高等学校修了レベルの学習達成度(「知識」、「技能」)、ならびに「思考力」等を評価します。

大学入学共通テスト利用選抜では、「国語、社会、英語、数学」のうち、高得点となる2科目の結果により、高等学校修了レベルの学習達成度(「知識」、「技能」)、ならびに「思考力」等を評価します。

【入学者選抜区分ごとの評価の比重】

入学者選抜区分	学力の3要素		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
総合型選抜	△	◎	◎
学校推薦型選抜	○	○	◎
一般選抜	◎	○	△

重視する度合いが高い順に「◎」「○」「△」となります。

学力の3要素の評価の詳細については、「**出願書類等の活用**」をご覧ください。

ソフトウェア情報学部 ソフトウェア情報学科

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

ソフトウェア情報学部は、情報工学の専門的知識・技能を身につけ、自らの未来を切り拓く実践力を備えた人間の養成を目指して教育を行っています。そのため、本学部で学ぶ意欲があり、高等学校までの学習や経験を通じて基礎的知識を持ち、身近な問題に自ら取り組み、その成果を表現できる力を身に付けていることを重視します。入学者の受入れは、下記の方針に基づいて適正に行います。入学者の選考は、様々な個性、能力等を受け入れることができるよう、多様な選抜方法を用意して行います。

【ソフトウェア情報学部が求める学生像】 次の①～⑥のような学生を求めています(以下「AP①～⑥」とする)

- ① 高等学校の教育課程を幅広く修得している人
- ② 身近な問題について、知識や情報を基にして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる人
- ③ ソフトウェア情報学部で主体的に学ぶ意欲がある人
- ④ 学んだ知識や経験を社会で活かしたいという意欲がある人
- ⑤ 地域における社会的活動、文化、スポーツ活動等に取り組む意欲がある人
- ⑥ ソフトウェア情報学部から求められている入学前教育に取り組むことができる人

【入学志願者に求める学習の取組】

- ・教科・科目の学習を通して、数学を中心とした幅広い分野の基礎知識を身に付けてください。
- ・身近な問題について、必要な情報を集めた上で自ら論理的に考え、その結果を他者が理解できるよう工夫して説明する態度や習慣を身に付けてください。
- ・情報通信技術に関心を持ち、学んだ知識や得られた技能を地域や社会のために活用しようとする意欲を持ってください。

【入学者選抜の基本方針】

1. 入学者選抜方法

(1) 総合型選抜

選抜方法:「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接(口頭試験含む)」「小論文」

本学部の教育課程に基づく学習を行うための意欲・関心、能力、適性等を評価するという観点から、上記の方法を用いて総合的に評価・選抜を行います。

入学者選抜区分:総合型選抜、社会人特別選抜、編入学選抜

(2) 学校推薦型選抜

選抜方法:「推薦書」「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接(口頭試験含む)」「小論文」

本学部の教育課程に基づく学習を行うための意欲・関心、能力、適性等を評価するという観点から、上記の方法を用いて総合的に評価・選抜を行います。

入学者選抜区分:公募・指定校学校推薦型選抜

(3) 一般選抜

選抜方法:「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「学力検査」

高等学校修了レベルの学習達成度に関して学力検査を中心に確かめるとともに、本学部の教育課程に基づく学習を行うための経験・意欲を加え、総合的に評価・選抜を行います。

入学者選抜区分:一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜

2. 選抜方法の内容と評価要素

調査書

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」

1. 知識・技能【AP ①】

「各教科・科目等の学習の記録」「各教科の学習成績の状況」「学習成績概評」「出席の記録」

2. 思考力・判断力・表現力【AP ②】

「総合的な学習の時間の内容・評価」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度【AP ③④⑤】

「総合的な学習の時間の内容・評価」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」

※「備考」については「本学アドミッション・ポリシーに関連した学習成果」の記載を求めます。

大学入学志望理由・自己推薦書

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」

記載された内容と本学部入学者受入れの方針の整合性をもとにして、意欲と行動力に関する評価を行います。

推薦書

選抜方法:「学校推薦型選抜」

これまでの学習に対する経験や取組状況に関する客観評価により、意欲と行動力に関する評価を行います。

面接(口頭試験含む)

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」

志望動機、入学後の学修計画、卒業後の進路等に関する質疑を通して、本学部で学修する意思と適性等を評価します。また、口頭試問により基礎的な学力と表現力等も確認します。

小論文

選抜方法:「総合型選抜」「学校推薦型選抜」

社会的課題に対する情報通信技術の活用に関して、筋道を立てて考え文章にまとめる能力を評価します。

学力検査

選抜方法:「一般選抜」

一般選抜では、「数学」及び「英語、国語、社会のいずれか」の試験を行い、高等学校修了レベルの学習達成度と思考力・判断力・表現力を評価します。

大学入学共通テスト利用選抜では「数学」及び「英語、理科、国語のいずれかの科目」の結果により、高等学校修了レベルの学習達成度と思考力・判断力・表現力を評価します。

【入学者選抜区分ごとの評価の比重】

入学者選抜区分	学力の3要素		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
総合型選抜	△	◎	◎
学校推薦型選抜	△	◎	○
一般選抜	◎	○	△

重視する度合いが高い順に「◎」「○」「△」となります。

学力の3要素の評価の詳細については、「**出願書類等の活用**」をご覧ください。

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

青森大学薬学部は、地域の薬剤師を養成することを目的とした6年制の学部です。従って、薬剤師として必要な資質を得るために必要な知識、技能及び倫理観を身に付けさせることが使命です。その使命を理解し、必要となる基礎力を有し、薬学を学ぶ強い意志を持つ学生の入学を求めます。入学者の受入れは、下記の方針に基づいて適正に行います。入学者の選考は、様々な個性、能力等を受け入れることができるよう、多様な選抜方法を用意して行います。

【薬学部が求める学生像】 次の①～⑥のような学生を求めています (以下「AP①～⑥」とする)

- ① 化学、数学、語学を中心に高等学校の教育課程を幅広く修得している人
- ② 身近な問題について、知識や情報を基にして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる人
- ③ 自ら学ぼうとする意志を持っている人
- ④ 人への思いやりを持ち、多様な人々とコミュニケーションを取ろうとする態度が身に付いている人
- ⑤ 薬の専門家として、他者と協働して、地域社会に役立ちたいという志を持っている人
- ⑥ 薬学部から求められている入学前教育に取り組むことができる人

【入学志願者に求める学習の取組】

- ・薬剤師として必要な基礎的な科学力を培うために、理系科目のみならず語学など文系科目全般を修得し、総合的な学力を身につけてください。
- ・様々な問題を発見する力や関連する情報を収集、分析する力、これらを用いて、問題を解決する力を養うために、身近な問題や社会の動きについて常に関心を持ち、考えることで、自ら継続して学ぶ意志を磨いてください。
- ・他者と協働して地域社会に役立つために、ボランティアや課外活動を通して、思いやりやコミュニケーションを身につけてください。

【入学者選抜の基本方針】

1. 入学者選抜方法

(1) 総合型選抜

選抜方法:「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接(口頭試験含む)」「プレゼンテーション」「小論文」

自ら継続して学習する意欲、薬学に対する関心、興味、コミュニケーション能力など、薬の専門家として求められる能力、資質、適性を評価するとともに、高等学校の教育課程の習熟度を評価します。また、身近な問題に対し、自分の考えを論理的に説明し、発表する力も評価し、これらを総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分:総合型選抜、社会人特別選抜、編入学選抜

(2) 学校推薦型選抜

選抜方法:「推薦書」「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接(口頭試験含む)」「小論文」

自ら継続して学習する意欲、薬学に対する関心、興味、コミュニケーション能力など、薬の専門家として求められる能力、資質、適性を評価するとともに、高等学校の教育課程の習熟度を評価します。また、身近な問題に対し、自分の考えを論理的に説明する力も評価し、これらを総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分:公募・指定校学校推薦型選抜

(3) 一般選抜

選抜方法:「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「学力検査」

自ら継続して学習する意欲、薬学に対する関心、興味など、薬の専門家として求められる能力、資質、適性を評価するとともに、高等学校の教育課程の習熟度を評価し、総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分:一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜

2. 選抜方法の内容と評価要素

調査書

選抜方法：「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」

1. 知識・技能【A P ①】

「各教科・科目等の学習の記録」「各教科の学習成績の状況」「学習成績概評」「出席の記録」

2. 思考力・判断力・表現力【A P ②】

「総合的な学習の時間の内容・評価」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度【A P ③④⑤】

「総合的な学習の時間の内容・評価」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」

「備考」については「本学アドミSSION・ポリシーに関連した学習成果」の記載を求めます。

客観的な視点から、高等学校における教育課程の「習熟度」、「授業態度」、校内、校外での活動による「行動力」「地域社会への貢献度」を評価します。

大学入学志望理由・自己推薦書

選抜方法：「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」

志望理由やこれまでの経験による記述により、薬学に対する理解や考え方、興味、将来の夢などの「薬学に対する意欲」および「自主的に継続して学ぶ力」を評価します。

推薦書

選抜方法：「学校推薦型選抜」

第三者視点から、高等学校における教育課程の「習熟度」「授業態度」、校内、校外での活動による「行動力」「地域社会への貢献度」を評価します。

面接（口頭試験含む）

選抜方法：「総合型選抜」「学校推薦型選抜」

「自主的に継続して学ぶ力」「コミュニケーション能力」、薬学に対する理解や考え方、興味、将来の夢などの「薬学に対する意欲」「口頭での質問に対する応答する力」を評価します。

プレゼンテーション

選抜方法：「総合型選抜」

身近な問題について、「自ら考える力」「理論的に説明する力」「関連する質問に回答する力」を評価します。

小論文

選抜方法：「総合型選抜」「学校推薦型選抜」

身近な問題について、「自ら考える力」「理論的に説明する力」を評価します。

学力検査

選抜方法：「一般選抜」

一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜共に、高等学校の教育課程修了レベルの「化学、数学、語学」に対する「知識」や「思考力」を評価します。

【入学者選抜区分ごとの評価の比重】

入学者選抜区分	学力の3要素		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
総合型選抜	○	◎	○
学校推薦型選抜	○	○	◎
一般選抜	◎	△	○

重視する度合いが高い順に「◎」「○」「△」となります。

学力の3要素の評価の詳細については、「**出願書類等の活用**」をご覧ください。

出願書類等の活用

志願者本人の記載する資料等の活用

青森大学では各学部、入学者選抜ごとに「調査書、推薦書、志願者本人の記載する資料（大学入学志望理由・自己推薦書）」等を、本学アドミッション・ポリシーに基づき、学力の３要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を多面的、総合的に評価するために活用します。

なお、留学生特別入学者選抜では「調査書」「小論文」を最終学歴の「卒業証明書・成績証明書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接（口頭試験含む）」等に替えて評価します。

また、すべての入学者選抜では、学力の３要素を評価するため「調査書、大学入学志望理由・自己推薦書」の提出を求めます。

【「卒業証明書・成績証明書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接（口頭試験含む）」】

1. 知識・技能【ＡＰ ①】
2. 思考力・判断力・表現力【ＡＰ ②】
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度【ＡＰ ③④⑤】

【推薦書、志願者本人の記載する資料等】

本学アドミッション・ポリシーに基づき、学力の３要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を評価するために活用します。そのため、大学が求める事項について本学所定用紙に記載を求めます。

また、「推薦書」については、生徒の努力を要する点などについて、その後の指導において特に配慮を必要とするものがあれば記載してください。

— 目次 —

留学生特別入学者選抜要項	12
日本留学試験等利用 — 渡日前 —	
納入金等について	14

出願書類（本学所定様式をホームページに掲載します）

- ◇ 留学生入学者選抜願書
- ◇ 留学生出願調書
- ◇ 大学入学志望理由書・自己推薦書
- ◇ 経費支弁書

入学者選抜の「日程・選考方法」等については、新型コロナウイルス感染症による状況の変化に伴い変更となる場合があります。その場合には青森大学ホームページにてお知らせいたします。

本学の入学者選抜に志願し、合格され、入学手続きが完了した方は、2022年4月入学となります。新型コロナウイルス感染症による状況の変化に伴い、来日に際し航空機や公共交通機関の交通規制等により本邦への渡日に支障がでる可能性があることをご承知いただいたうえで、出願いただきますようお願いいたします。また、ご出願いただいた場合には承知いただいたものとして対応させていただきます。

入学までの各種手続きや予定していた時期に渡日できない場合、修学上の配慮措置等については、柔軟に対応できるよう検討し、本学担当者より情報提供いたします。

留学生特別入学者選抜要項 日本留学試験等利用 ― 渡日前 ―

1. 【募集学部学科・募集定員】

総合経営学部 経営学科 若干名
社会学部 社会学科 若干名
ソフトウェア情報学部 ソフトウェア情報学科 若干名
薬学部 薬学科 若干名

2. 【出願資格】 下記の(1)～(3)のすべてに該当する者。

- (1) 本国において通常の過程による12年以上の学校教育を修了した者、又はこれに準ずる者で、大学において教育を受ける目的を持って入国する者。
- (2) 「日本留学試験(EJU(科目:日本語))」で200点以上、又は「日本語能力試験(JLPT)」N2以上の合格者。
- (3) 日本に在留する期間中の学習、生活に要する費用の確認書類を提出できる者。

3. 【出願書類】

- (1) 入学者選抜願書
 - (2) 出願調書と大学入学志望理由・自己推薦書
 - (3) 経費支弁書 ※日本語以外の言語のものは日本語訳を別途添付してください。
 - (4) 「日本留学試験(EJU)」の成績通知書、又は「日本語能力試験(JLPT)」の可否結果通知書(原本のみ)
 - (5) 高等学校の卒業証明書(原本のみ)・成績証明書(原本のみ)
※日本語以外の言語のものは日本語訳を別途添付してください。
 - (6) 最終学歴の卒業証明書(原本のみ)・成績証明書(原本のみ):最終学歴が高等学校卒業の方は不要です。
※日本語以外の言語のものは日本語訳を別途添付してください。
 - (7) プレゼンテーションの「要旨、資料」(薬学部のみ) ※日本語で作成してください。
- 出願に必要な書類はすべて封筒に入れ、出願期間内に郵送してください。

4. 【選抜方法】

総合経営学部・社会学部

独立行政法人日本学生支援機構による日本留学試験、又はこれに準ずると認められる日本語能力に関する試験の成績と、提出された出願書類、及び面接(口頭試験含む)結果を総合的に審査し選考します。

面接(口頭試験含む)・日本語能力に関する試験の成績(日本留学試験等)・出願書類

※社会学部は面接となります。

【日本留学試験対象科目】

総合経営学部・社会学部 . . . 日本語

ソフトウェア情報学部

学力試験(数学)に関しては独立行政法人日本学生支援機構による日本留学試験の成績を提出。

学力試験(日本語)に関しては日本留学試験又はこれに準ずると認められる日本語能力に関する試験の成績を提出。その他、提出された出願書類、及び面接(口頭試験含む)結果を総合的に審査し選考します。

面接(口頭試験含む)・学力検査(数学)に関する試験の成績(日本留学試験)、日本語能力に関する試験の成績(日本留学試験等)・出願書類

【日本留学試験対象科目】

ソフトウェア情報学部 . . . 日本語、数学(コース自由)

薬学部

学力試験(数学・理科)に関しては独立行政法人日本学生支援機構による日本留学試験の成績を提出。

学力試験(日本語)に関しては日本留学試験又はこれに準ずると認められる日本語能力に関する試験の成績を提出。その他、提出された出願書類、及び面接(口頭試験含む)、プレゼンテーション結果を総合的に審査し選考します。プレゼンテーションは「医療」をテーマとし、持ち時間は8分程度です。

面接(口頭試験含む)・プレゼンテーション・学力検査(数学・理科)に関する試験の成績(日本留学試験)日本語能力に関する試験の成績(日本留学試験等)・出願書類

【日本留学試験対象科目】

薬学部 日本語、数学(コース2)、理科(化学)

【面接（口頭試験含む）、プレゼンテーション（薬学部のみ）】

Web（Zoom等）を利用して実施します。また、事前を送受信テストを行います。

5. 【受験料】

受験料 10,000 円。※一旦納入された受験料は原則として返還いたしません。

なお、口座番号については入試課 nyushi@aomori-u.ac.jp へお問い合わせください。

6. 【選抜日程】

入学時期	2022年4月
出願期間	2021年11月15日～2022年1月6日 ※ 〒030-0943 青森県青森市幸畑2丁目3-1 へお送りください。
選抜日程	志願者に直接連絡します。 ただし、2022年1月12日を最終選考日とします。
合格発表	面接日から約1週間以内 ※通常の郵便で正式な合格通知を送付します。
入学手続完了日	合格発表後、約2週間以内 ただし、2022年1月31日を最終期限とします。

※募集定員に達した場合、受付を締め切ることがあります。（ホームページでお知らせいたします）

7. 【注意事項】

（1）合格者は、上記の入学手続完了日までに入学手続きを完了してください。

手続完了後に受験生の都合により入学を辞退された場合には、納入金は返還いたしません。

（2）提出書類に不正、あるいは虚偽の記述がある場合には、合格を取り消します。

（3）出願書類の遅れや、記述内容に不備があった場合、在留資格申請等ができないこともあります。

（4）提出された書類は、再発行されないものを除き、一切返却しません。

（5）出願書類は以下へお送りください。

〒030-0943 青森県青森市幸畑2丁目3-1 （+81）17-738-2001

8. 【入学手続に必要な書類】

（1）本人と経費支弁者の関係を証明する書類 ※日本語以外の言語のものは日本語訳を別途添付してください。

（2）写真3枚（カラー写真、4cm×3cm、背面に指名記入）

（3）健康診断書（3ヶ月以内）

（4）身分証明書の写し（本人のパスポートのコピー）

（5）経費支弁者の在職証明書、収入証明書又は納税証明書

（経費支弁者が日本国内にいる場合は、在職証明書、所得証明書又は課税証明書、身元保証書、住民票）

※日本語以外の言語のものは日本語訳を別途添付してください。

（6）在留資格認定証明書交付申請書 ※関連資料一式をお送りします。

※入学金及び1年分の学費は、合格通知書が送付された時点で一緒に納入してください。

入学金及び1年分の学費の納入が確認できて時点で在留資格の代理申請を行います。

納入金一覧

昨年から続く新型コロナウイルス感染症による影響に鑑み、受験機会の確保と負担軽減を目的とし、2022年度入学者に限り入学金を全額免除とします。

■総合経営学部

- 携帯電話により履修登録、出席確認等を行いますので、学費等納入金のほか年間2,700円程度の通信費が必要になります。
○学費等の納入金は一括納入が原則ですが、分納することもできます。

学年別 学費内訳 納入金額		初年度			次年度以降			2年次編入			3年次編入		
		一括	分納		一括	分納		一括	分納		一括	分納	
			入学手続時	9月時		4月時	9月時		入学手続時	9月時		入学手続時	9月時
学 費	入学金	200,000	200,000					※200,000	※200,000		※200,000	※200,000	
	授業料	642,000	321,000	321,000	642,000	321,000	321,000	642,000	321,000	321,000	642,000	321,000	321,000
	教育充実費	300,000	150,000	150,000	300,000	150,000	150,000	300,000	150,000	150,000	300,000	150,000	150,000
	実験実習費												
委 託 徴収費	校友会費	10,000	10,000		10,000	10,000		10,000	10,000		10,000	10,000	
	文化会体育会費	7,000	7,000		7,000	7,000		7,000	7,000		7,000	7,000	
	学術研究会費	3,000	3,000		3,000	3,000		3,000	3,000		3,000	3,000	
	後援会費	30,000	30,000		30,000	30,000		30,000	30,000		30,000	30,000	
	学生教育研究 災害傷害保険料	4,660	4,660					※3,720	※3,720		※2,430	※2,430	
合 計		1,196,660 996,660	725,660 525,660	471,000	992,000	521,000	471,000	1,195,720	724,720	471,000	1,194,430	723,430	471,000

※印は編入年度のみ

■社会学部

- 携帯電話により履修登録、出席確認等を行いますので、学費等納入金のほか年間2,700円程度の通信費が必要になります。
○学費等の納入金は一括納入が原則ですが、分納することもできます。

学年別 学費内訳 納入金額		初年度			次年度以降			2年次編入			3年次編入		
		一括	分納		一括	分納		一括	分納		一括	分納	
			入学手続時	9月時		4月時	9月時		入学手続時	9月時		入学手続時	9月時
学 費	入学金	200,000	200,000					※200,000	※200,000		※200,000	※200,000	
	授業料	642,000	321,000	321,000	642,000	321,000	321,000	642,000	321,000	321,000	642,000	321,000	321,000
	教育充実費	300,000	150,000	150,000	300,000	150,000	150,000	300,000	150,000	150,000	300,000	150,000	150,000
	実験実習費				(脚注参照)						(脚注参照)		
委 託 徴収費	校友会費	10,000	10,000		10,000	10,000		10,000	10,000		10,000	10,000	
	文化会体育会費	7,000	7,000		7,000	7,000		7,000	7,000		7,000	7,000	
	学術研究会費	3,000	3,000		3,000	3,000		3,000	3,000		3,000	3,000	
	後援会費	30,000	30,000		30,000	30,000		30,000	30,000		30,000	30,000	
	学生教育研究 災害傷害保険料	4,660	4,660					※3,720	※3,720		※2,430	※2,430	
合 計		1,196,660 996,660	725,660 525,660	471,000	992,000	521,000	471,000	1,195,720	724,720	471,000	1,194,430	723,430	471,000

※印は編入年度のみ

- 社会学部で社会調査士の資格を希望する方は、3年次に別途、実習費が必要です。
○社会福祉士又は精神保健福祉士の受験資格取得を希望する方は2年次に25,000円程度、3年次に55,000円程度の実験実習費が別途必要となります。また、両方の受験資格を希望する場合には2年次に25,000円程度、3年次に55,000円程度、4年次に55,000円程度の実験実習費が別途必要となります。なお、実験実習費の納付時期に関しましては、それぞれ実習を行う年度ごとに納付していただくことになります。

■ソフトウェア情報学部

- 携帯電話により履修登録、出席確認等を行いますので、学費等納入金のほか年間2,700円程度の通信費が必要になります。
○学費等の納入金は一括納入が原則ですが、分納することもできます。

学年別 納入金額 学費内訳		初年度			次年度以降			2年次編入			3年次編入		
		一括	分納		一括	分納		一括	分納		一括	分納	
			入学手続時	9月時		4月時	9月時		入学手続時	9月時		入学手続時	9月時
学 費	入学金	200,000	200,000					※200,000	※200,000		※200,000	※200,000	
	授業料	980,000	490,000	490,000	980,000	490,000	490,000	980,000	490,000	490,000	980,000	490,000	490,000
	教育充実費	200,000	100,000	100,000	200,000	100,000	100,000	200,000	100,000	100,000	200,000	100,000	100,000
	実験実習費	30,000	30,000		80,000	80,000		80,000	80,000		80,000	80,000	
委 託 徴収費	学友会費	10,000	10,000		10,000	10,000		10,000	10,000		10,000	10,000	
	文化会体育会費	7,000	7,000		7,000	7,000		7,000	7,000		7,000	7,000	
	学術研究会費	3,000	3,000		3,000	3,000		3,000	3,000		3,000	3,000	
	後援会費	30,000	30,000		30,000	30,000		30,000	30,000		30,000	30,000	
	学生教育研究 災害傷害保険料	4,660	4,660					※3,720	※3,720		※2,430	※2,430	
合 計		1,464,660 1,264,660	874,660 674,660	590,000	1,310,000	720,000	590,000	1,513,720	923,720	590,000	1,512,430	922,430	590,000

※印は編入年度のみ

■薬学部

- 携帯電話により履修登録、出席確認等を行いますので、学費等納入金のほか年間2,700円程度の通信費が必要になります。
○学費等の納入金は一括納入が原則ですが、分納することもできます。

		初年度			次年度以降			編入時			学生教育研究 災害傷害保険料※1	
		一括	分納		一括	分納		一括	分納		編入年次	納入金額
			入学手続時	9月時		4月時	9月時		入学手続時	9月時		
学 費	入学金	200,000	200,000					300,000	300,000		2年次編入	5,830
	授業料	1,300,000	650,000	650,000	1,300,000	650,000	650,000	1,300,000	650,000	650,000	3年次編入	4,730
	教育充実費	300,000	150,000	150,000	300,000	150,000	150,000	465,000	232,500	232,500	4年次編入	3,670
	実験実習費	120,000	60,000	60,000	120,000	60,000	60,000	120,000	60,000	60,000		
委 託 徴収費	学友会費	10,000	10,000		10,000	10,000		10,000	10,000			
	文化会体育会費	7,000	7,000		7,000	7,000		7,000	7,000			
	学術研究会費	3,000	3,000		3,000	3,000		3,000	3,000			
	後援会費	30,000	30,000		30,000	30,000		30,000	30,000			
	学生教育研究 災害傷害保険料	6,840	6,840					※15,830	※15,830			
合 計		1,976,840 1,776,840	1,116,840 916,840	860,000	1,770,000	910,000	860,000	2,240,830	1,298,330	942,500		

○病院・薬局における実務実習が5ヶ月間実施されますので、このための費用(12万円×6年間)を年次計画で別途徴収します。

※1 編入年次により金額が異なります。



青 森 大 学

〒030-0943 青森市幸畑 2 丁目 3-1

TEL (+81) 17-738-2001

<https://www.aomori-u.ac.jp/>

青森大学東京キャンパス

〒134-0087 東京都江戸川区清新町 2 丁目 10-1

TEL (+81) 3-6261-6399

<https://www.aomori-u-tokyo.jp/>

お問い合わせ先

青森大学入試課

TEL (+81) 17-728-0102

Mail : nyushi@aomori-u.ac.jp